

9月2日（土） 第1会場 13:30～15:00

## 大会基調講演

### 「理学療法士としての生き方～社会変化の中で」



三宅 わか子（みやけ わかこ）

学校法人 名古屋石田学園 星城大学リハビリテーション学院

#### 【略歴】

- 1987年 中部リハビリテーション専門学校 卒業
- 1991年 国立静岡大学法経短期大学部法経学科 卒業
- 2010年 放送大学大学院文化科学研究科修士全科課程 修了

#### 【職歴】

- 1987年 静岡医療福祉センター児童部（現：静岡済生会療育センター令和）
- 2001年 中部リハビリテーション専門学校
- 2006年 星城大学リハビリテーション学院

#### 【業績】

- 第8回日本理学療法教育学会学術大会 大会長基調講演，臨床能力向上のためのコミュニケーション～情報ネットワークの構築～，愛知，2019
- 臨床実習指導者講習会テキスト作成委員（2019）
- 理学療法教育モデル・コア・カリキュラム作成委員（2019）
- 指定規則改正検討作業部会部員（2023）

#### 【著書】

- 三宅わか子，他 編著：会話例とワークで学ぶ 理学療法コミュニケーション論，医歯薬出版株式会社，東京都文京区，2018

#### 【その他】

- 公益社団法人 愛知県理学療法士会 代表理事
- 一般社団法人 日本理学療法教育学会 副理事長
- 任意団体 女性理学療法士の会 会長

## 【講演概略】

わが国のリハビリテーションは 1950 年代よりポリオの後遺症や肢体不自由児を対象とし、米国から新しい思想や技術が導入され対象は障がい者一般へと広がりました。1960 年代は医療機関を中心に脳卒中や高齢者を対象とし、1970 年代は特別養護老人ホーム等の基準を制定、福祉用具の給付や貸与事業も創設されました。1980 年代は在宅の要介護高齢者の介護施設や訪問サービス事業、予防から治療、機能回復と社会復帰を目的とするリハビリテーション、総合的な保健医療サービスへと拡大していきました。このような社会変化に伴い 1965 年 6 月 29 日、法律第 137 号理学療法士及び作業療法士法が制定され理学療法士は誕生しました。

第 1 回理学療法士国家試験（1966 年）の合格者は 183 名。ヒトの姿勢と運動を専門とする唯一の医療専門職が誕生し、第 1 回理学療法士学術大会が東京大学で「PT 管理と運営」をテーマに開催され、熱い議論が交わされたそうです。理学療法の知識と技術ではなく管理と運営がテーマであったことは、さあここから如何にして理学療法を発展させていくのか!?, 先人方の努力により現在の理学療法の在り方、基盤づくりがなされたのです。1979 年には全国 47 都道府県すべてに都道府県理学療法士会が設置され、社会的ニーズが身近で理学療法士に届けられることとなりました。

1990 年代には、高齢者保健福祉推進 10 年戦略（ゴールドプラン）や老人保健福祉計画に基づき、市町村での高齢者保健福祉の基盤整備が図られたことにより、医療機関から保健福祉施設で働く理学療法士の需要が拡大し、1992 年には理学療法士養成施設として 4 年制大学教育が開始され、以後、急速に理学療法士が増える時代が到来しました。2000 年代には介護保険制度が開始され、医療・福祉の財源事情と国民から求められる理学療法は変化を続け、その後地域包括ケアシステムの充実、全世代型社会保障の確立に向けて社会情勢は移り変わり、理学療法士誕生から半世紀を超えたいま、私たちの働き方も多様性を帯びています。2019 年より働き方改革関連法案の一部が施行され、働き方改革の言葉が全国民に浸透しました。理学療法士の働く環境はブラック企業ではありませんが、労働に見合う対価の視点では少々、疑問が残ります。ワーク・ライフ・バランスに沿った働き方 my 改革の実行が必要です。

1965 年理学療法士法の制定直後に、私は低出生体重児として生まれました。生命が危ぶまれた状況でしたが、新生児チーム医療のスタッフの懸命な治療により今を生きています。理学療法士として人生を送ることは必然なのかもしれません。今回の学術大会「DIVERSITY～社会変化の中での理学療法～」では、2010 年より男女共同参画と働き方について活動して参りました私個人の理学療法士としての人生観も折り込みながら、理学療法の歴史を紐解き、理学療法の価値の多様性、理学療法士の働き方の多様性についてお話させていただきます。

最後にこの度、貴重な講演の機会を授けてくださいました公益社団法人 長崎県理学療法士協会の皆さまに感謝申し上げるとともに、貴会の益々のご発展をお祈り申し上げます。